

はろーぼろーいふ

2012年10月号
NO.181

8月5日

夏休み親子工作教室

トヨタの森

ボランティアサークル「トヨタ森林キーパーズ」が中心となり、日ごろの活動で発生した間伐材を活用した親子工作教室を、トヨタの森で開催しました。当日は、13組の親子が思い思いの作品づくりに挑戦しました。子ども達はのこぎりやキリに苦戦しながら、お父さん・お母さんやキーパーズの皆さんのサポートを受けながら作品づくりに取り組みました。作品が完成すると、歓声が上がり皆さん笑顔になりました。最後に一人ずつ作品発表を行い、充実した思い出に残る1日となりました。



事前説明

ケガに気をつけて
楽しみながら
作ってください！



家族会議中...

作品発表会



個性あふれる作品が
沢山完成しました。



家族ごとに分かれて
作業開始！



設計図を真剣に引く
お父さん

お父さん凄い！



電動かんなで木の表面を
ツルツルにしてみました。



僕はヨットを
作りました。



大変だったけど
楽しかったです。



面白い形
ですね



のこぎりを引く時に
力を入れるんだよ



大きな木が
切れた！



クルクル回るのが
特徴です。



真っ直ぐ切れるかな...
難しい...



生産管理部
木村 賢一 さん
遥 さん (5年生)

いつも苦戦している子どもの夏休みの工作ができればと思い「夏休み親子工作教室」に小5の娘と初めて参加させていただきました。間伐材を使っての工作ということで、間伐材がどのような物かの知識もあまりないままに参加し、最初はなるものかと思っていましたが、子供の作りたいテーブルのイメージを森林キーパーズの方に伝えると、その場にある材料と工具でいろいろとアドバイスや作業等でフルサポートしていただき安全かつスムーズに作業が進み、思っていた以上の素敵なテーブルが出来、子供も非常に喜んでいました。また、材料となる間伐材には様々な物があり、大人の自分も興味をそそられ余った時間で数点の工作をさせていただき、親子共々に自然の中で有意義な時間を過ごさせていただきました。来年は下の子どもも含め家族全員で参加させていただきたいと思っています。

参加者の声

- P1 夏休み親子工作教室
- P2 ~ 3 東日本大震災「被災地復興支援ボランティア」第三期活動終了
士別試験場 石巻市の子供たちの歓迎事業・TABLE FOR TWO 士別試験場にてスタート
名古屋フィルハーモニー交響楽団チャリティーコンサートボランティア
アカウミガメ産卵地保全活動 アカウミガメ観察会 & ビーチクリーン活動
田原工場 あいくるボランティアグループ表彰
- P4 全社収集キャンペーン 2012 告知
SX 会生枝支部 若草苑・SX 会堤支部 サンホーム豊田 草刈り&ふれあい交流

もくじ



<ハロちゃん>

トヨタボランティアセンターの
シンボルマークです

東日本大震災「被災地復興支援ボランティア」

2011年6月よりトヨタグループ・関係会社15社の従業員を中心に岩手県で実施している被災地復興支援ボランティア活動。その第三期として2012年5月より活動を再開し、岩手県気仙地区（陸前高田市・大船渡市）にて活動を実施しました。
9月より第四期としての活動も決定し、11月まで支援活動を行っています。また、10月より全社収集キャンペーンを開始し昨年に引き続き収集物（ベルマーク・書き損じハガキ）を被災地へ寄贈します。被災地へ行かなくても支援となる活動にもご参加ください。

依頼者宅敷地内の草取りと瓦礫の撤去

敷地内を花壇にして花を植えたいとのご依頼

商店街周辺の草刈り

住民の方と一緒に草刈りを行いました。



1年以上放置された敷地には草が生え小石や瓦礫、ガラス片が混じる土を掘り起こし除去しました。



この日は炎天下の中、建物がない被災地では日陰が無く、大変な活動でした。



大量の草を取り除きました。



「虹のライブラリー」の草刈り・花壇づくりお祭り用の竹を採取



ひたすら草刈りを行いいくつも草の山が出来ました。



一つ一つ手作業で分別を行いました。



花壇と避難経路の草取り



花壇には、チューリップの球根を植え、草取りをしました。



活動に参加した皆さん



参加者の声
レクサス営業企画部 中山 郁英 さん
いつかは被災地に行きたいと思っていた時に、偶然トヨタでボランティア活動を行っていることを知り、参加させて頂きました。毎日とても暑かったですが、ボランティア先の方々からお話を伺うことができたり、心のこもった差入れを頂いたり毎日非常に充実していました。これで終わりというわけではなく、これから自分に何が出来るか考えて、行動していきたいと思えます。

7月25日～29日 第三期活動 終了

第三期活動概要

目的	トヨタグループ・関係会社15社の従業員による自主活動として、東日本大震災の被災地・被災者に対する復興支援を行なう。
活動地域	岩手県南部・気仙地区（大船渡市・陸前高田市・住田町）
協働先	特定非営利活動法人 NPO 愛知ネット
協力	・トヨタパーソナルサポート ・大型車運転転友の会
活動日程	①5/30-6/3 ②6/6-6/10 ③6/27-7/1 ④7/11-7/15 ⑤7/25-7/29
活動人数	各回18名程度

お祭りで使用する竹を採取しました。

8月26日 名フィルチャリティーコンサートボランティア 名古屋市公会堂

名古屋市公会堂にて、名古屋フィルハーモニー交響楽団主催のチャリティーコンサートが開催されました。総勢19名のボランティアがさまざまな役割を担い、来場者に終日楽しく過ごしてもらえるよう、笑顔でサポートを行いました。このチャリティーコンサートは名古屋フィルハーモニー交響楽団が平成11年から開催している福祉コンサートの支援のために開催されています。※このチャリティーコンサートでのバザーの売り上げの一部は、9月に実施される福祉コンサートの開催費用に充てられます。



事前説明

場内案内

あちらですね

チケットもぎり&パンフレット渡し

こんにちは!

バザー会場はこちらになります

ご協力ありがとうございます



活動に参加した皆さん



参加者の声
レクサス営業企画部 瀧下 智恵 さん
初めてのボランティア活動への参加で、聖人でもないのにどのようになればよいのかと、当日まで緊張していました。ドア開閉・席案内などの役割でしたが、いろいろな来場者の方とコミュニケーションをとりながら、楽しくサポートさせていただくことができました。今回、自分が一歩踏み出せたような気がしましたし、活動に参加したことを家族も非常に喜んでくれました。名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏も聴くことができ、貴重な経験となりました。

8月5日 アカウミガメ産卵地保全活動 アカウミガメ観察会&ビーチクリーン 田原市 表浜海岸

アカウミガメの産卵で有名な田原市の表浜海岸に、本年3月にアカウミガメ産卵地保全活動として砂浜の侵食を防ぐ堆砂垣を設置しました。今回は堆砂垣の設置効果の確認と、実際にアカウミガメが産卵に来ているかの観察を行い、最後にビーチクリーン活動を行いました。1部は早朝5時よりアカウミガメの生態について学び、実際に砂浜へ出て産卵のために砂浜へ上がって来たウミガメの足跡を見つけ、産卵場所の確認をしました。2部は7時よりクリーン活動を行い、アカウミガメが再び表浜海岸へ産卵にきてくれるよう皆で落ちているゴミを拾い海岸をキレイにしました。最後に人工飼育された子ガメを放流し、本能的に海へと歩いていく姿に参加者の皆さんはとても驚いていました。



ウミガメの勉強会

アカウミガメの種類について学びました

海から産卵の為に上陸したウミガメの足跡を見つけました。

ビーチクリーン活動

最後に砂浜に落ちているゴミを皆で拾いました。

本年3月にボランティアで設置した堆砂垣の効果で砂が堆積し、砂浜の侵食を防いでいます。

残念ながら子ガメの孵化は観察出来ませんでしたが、人工飼育されたカメを放流しました。

8月3日～6日 石巻市の子供たちの歓迎事業を実施！ 士別試験場

「サマーキャンプin北海道」と題し、東日本大震災をきっかけに石巻で中高生の居場所作りを行なっている団体「ほっとスペース」を利用する子供たちに楽しいひと時を過ごしていただくため、士別市で受入事業が行なわれました。士別市社会福祉協議会が主体となったこの行事には、士別試験場の従業員が運営ボランティアとして参加し、交流を図りました。



パークゴルフで交流

羊毛製品づくり体験

旭川夏まつり

車両展示会の見学

車イスの方も参加できる「ユニバーサル神輿」を一緒に体験

士別市の高校生と交流しました。

TABLE FOR TWO

士別試験場にて10月より毎日スタート!!!

TABLE FOR TWOにご協力いただき、ありがとうございます。
本社・技術・本社工場・東京・池袋・名古屋・東富士研究所・日進研修センター・三好工場に加え
2012年10月から
士別試験場で毎日スタートします!

ヘルシーランチを食べると一回あたり20円（個人10円+会社10円）が寄付され、発展途上国の子どもたちの給食一食分となります。
※寄付金は翌月の給与から控除されます。
※給与控除の仕組み上、TABLE FOR TWOを通じた寄付は従業員証で精算できる社員のみ可能です。
プリペイドカード等では寄付できませんのでご了承ください。（対象メニューの喫食は可能です）

8月19日 田原工場「あいくるボランティア」が表彰 ライフポート豊橋

田原工場で活動する「あいくるボランティア」が豊橋市社会福祉協議会より多年にわたる豊橋市への福祉活動を評価され「社会福祉銅有功章」を受章しました。（1個人・7団体が受章）表彰式が行われた当日はいきいきフェスタ2012も開催され、あいくるの皆さんは大判焼きの模擬店を出展しました。



ブース出展

社会福祉銅有功章

※田原工場あいくるボランティア
1996年に、田原工場の従業員が地域に役立つボランティアが出来ないと、企画ボランティアグループとして発足し、2005年名称をあいくるボランティアに変更【ボランティアを通じ、「あい」を捧げ、「あい」が芽生えてくる】と皆に愛されるサークルとなる様に改名。現在会員数は40名で主な活動は田原地域（緑化まつり・福祉のついで・表浜フェスタ）豊橋地域（善意銀行フェスティバル・いきいきフェスタ・岩崎学園祭）に参加主に、大判焼きなどの模擬店を出店しています。

身近なもので復興支援や環境保全などにご協力ください!

ひとりでもグループでも、身近なところから、簡単・気軽に取り組めるのが収集活動です。ご家庭で眠っているものがあればぜひ寄贈してください。みなさん一人ひとりのご理解と協力が大きな支援の力に変わります。皆さんからお寄せいただいた収集物は、各活動団体を経由し、物品との交換や、換金などの方法により、活用されます。被災地復興支援や環境保全などに役立てられますので、従業員及びご家族の皆さまのご協力をお願いいたします。

ベルマーク

例) 自動車保険証



右上にある
ベルマーク番号
ごとに仕分けて
送ってください!

あいおいニッセイ同和損保の
自動車保険証には
50点～60点の
ベルマークがついています。
(2010年10月～)

外国コイン・古切手・
インクカートリッジも
受け付けています。
※プリペイドカードの
回収は行いません。

書き損じ官製ハガキ



投函されて
いないもの

出し忘れたハガキや、印刷ミスで出せなかった
年賀状が眠っていませんか?

いろいろな商品にベルマークが付いています。
楽しく探しながら、参加してみませんか?

こちらへ社内便にてお送り下さい!

詳細は10月上旬に
お手元に届くチラシを
ご覧下さい。

【収集物送付・お問い合わせ先】

本社) 社会貢献推進部 企画室 環境・社会活動G (トヨタボランティアセンター)
電話: 内線) 811-3-3595 外線) 0565-23-3595

寄贈先: 岩手県気仙広域社会福祉協議会 (大船渡市・陸前高田市・住田町)

7月26日

SX会 生技支部 若草苑夏祭り ボランティア

SX会 生技支部が若草苑で行われた夏祭りのサポートを行いました。前日に苑内の草刈りや飾り付けなどの準備を行い、祭り当日は模擬店でのお手伝いを行いました。地域の方や苑の方と楽しく交流しながら活動しました。 ※若草苑は65歳以上の方々が入所される施設です。

事前準備 (草刈り & 提灯の飾り付け)



参加者の皆さん

参加者の声

苑や地域の方々
『一緒に盆踊りを楽しもう!』と銘打って、
お夏祭りのサポート
を行いました。

前日の事前準備
は雨の中、提灯の
取付けや草刈りを
実施しました。当日はSX会以外
の方も含めて、21名のお祭り好きに
参加いただき、駐車場整理とねぎま
の屋台運営を中心に行いました。
地域や苑の方だけでなく、他の
ボランティア団体の方とも交流でき、
一緒に盆踊りを楽しみながら
夏祭りを盛り上げました。



プレス生技部
員 提津 毅 さん

ねぎまの準備



水風船づくり

7月29日

SX会 堤支部 サンホーム豊田 草刈り & ふれあい交流会

SX会 堤支部はサンホーム豊田にて施設周辺の草刈りと、ふれあい交流会を実施しました。猛暑の中、草刈りは大変な作業でしたが、皆心地よい汗をかきながら活動しました。また、バルーンアートを通して皆さんと楽しく交流することができました。 ※サンホーム豊田は、知的障がいのある18歳以上の方々の自立支援を行う入所施設です。

施設の方と一緒に草刈り



活動に参加した皆さん

ふれあい交流



バルーンアートをしながら
交流を深めました。



堤) 成形部
員 鈴木 紀臣 さん

今回初めてボランティア活動に参加しました。暑い中施設の方々と一緒に施設周りの草刈りや草むしりを行いました。汗をかいた後にジュースを飲みながらの懇親会では、始めは緊張で会話が弾まなかったのですが、風船で動物を作りながら交流すると、自然と打ち解けようことができ、わずかな時間ではありましたが良い体験ができました。今後もボランティア活動が活発になるよう、職場での対話を通して理解してもらい、交流の輪をひろげていきます。

「はろーぼらんていあ」バックナンバー掲載のお知らせ

トヨタ公式企業サイトにバックナンバーが掲載されております (2011年5月・6月合併号以降)。是非ご覧下さい。

http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/society_and_culture/v_hello/index.html 【時間外閲覧】

本社) 社会貢献推進部 企画室 環境・社会活動G (トヨタボランティアセンター)
電話: 内線) 811-3-3582 外線) 0565-23-3582 FAX: 内線) 811-3-5748 外線) 0565-23-5748
住所: 〒471-8571 愛知県豊田市トヨタ町1番地
E-mail: ac-V8686@mail.toyota.co.jp
HP: <http://t-wave.mx.toyota.co.jp/XK/NewXK/volunteer/index.html>
(T-wave→各部→社会貢献推進部→トヨタボランティアセンター)

発行部署: 社会貢献推進部 企画室 環境・社会活動G 発行人: 田中均 編集人: 大洞和彦 印刷: トヨタグループ (株)